

紡ぎだされる珠玉のアンサンブル

高関 健を指揮に迎え

国立音楽大学オーケストラが奏でる

圧倒的な

音の世界を体感。

©K.Miura



©K.Miura

高関 健 TAKASEKI Ken (指揮)

国内はもちろんのこと、世界に名だたる名門オーケストラから豊潤な響きを引き出して聴衆や楽員から大絶賛を受けたサンクトペテルブルグ・フィル定期演奏会など海外への客演も多く、イツァーク・パールマン、ミッシェル・マイスキー、ギドン・クレーメル、ミハイル・プレトニョフ、ピエール・ブーレーズ等の世界的ソリストや作曲家、特にマルタ・アルゲリッチからは3回の共演を通じて絶大な信頼を得る、緻密なスコアの分析からスケールの大きな音楽を作り出す名匠。オペラでも新国立劇場やウラジオストクとサンクトペテルブルグでの團伊玖磨「夕鶴」、大阪カレッジオペラでのブリテン「ピーター・グライムズ」をはじめ、2021年には新国立劇場でストラヴィンスキー「夜鳴きうぐいす」、チャイコフスキー「イオランタ」を指揮、作品の魅力を存分に伝えて高い評価を得ている。国内主要オーケストラで重職を歴任し、現在東京シティ・フィル常任指揮者、富士山静岡交響楽団首席指揮者、仙台フィル常任指揮者。1977年カラヤン指揮者コンクールジャパン優勝、ベルリンでヘルベルト・フォン・カラヤンのアシスタントを務め、1984年ハンス・スワロフスキー国際指揮者コンクール優勝。第4回渡邊曉雄音楽基金音楽賞、第10回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第50回サントリー音楽賞を受賞。NHK等の番組にも定期的に出演するなど、幅広い活躍を続けている。X (旧 twitter) @KenTakaseki



©Ayumu Gombi

及川 浩治 OIKAWA Koji (ピアノ)

1984年ヴィオッティ・ヴァルセイジア国際音楽コンクールで第1位受賞。1990年ショパン国際ピアノ・コンクール最優秀演奏賞 (Honourable mention)、マルサラ国際音楽コンクール第1位受賞。ショパン没後150周年の1999年「ショパンの旅」と題したコンサート・ツアーを行い全国で3万5千人を動員。2008年～2011年には「10大協奏曲シリーズ」に取り組むなど人気・実力共に日本を代表するピアニストであり、ダイナミックな中に繊細さをも併せ持ち、内面にダイレクトに訴えかける及川の演奏は、幅広い層の共感を得ている。近年は海外オーケストラとの共演も多数。CDはショパン、ベートーヴェン、リスト、ラフマニノフなどの作品集をリリースし、いずれも高い評価を受けており、『ベートーヴェン：悲愴、熱情、ワルトシュタイン』と『ショパン：バラード』は「レコード芸術」誌特選盤に選出されている。現在、国立音楽大学客員教授、宮城学院女子大学音楽科特任教授。

国立音楽大学オーケストラとは

国立音楽大学オーケストラは、学部3～4年次の弦・管・打楽器の学生を主体として編成されている。毎年開催される大学院オペラ公演や、大学の近隣地域の音楽鑑賞教室への出演の他、年2回開催している定期演奏会は2024年7月で第141回を数え、招聘した指揮者には故岩城宏之、尾高忠明、準・メルクル、高関健、現田茂夫、山下一史、梅田俊明、藤岡幸夫、飯森範親、阪哲朗、原田慶太楼の各氏などがいる。近年では、準・メルクル指揮によるマーラー《交響曲5番》をはじめ、ベルリオーズ《幻想交響曲》やラヴェル《ダフニスとクロエ》(全曲)、また尾高忠明指揮によるシベリウス《交響曲第2番》などが大きな成果をあげている。2013年より準・メルクル、2015年より尾高忠明を招聘教授として迎え、さらなる教育の充実を目指している。

【100周年記念募金はじめました！】

音楽文化人育成と音楽芸術振興を通じた社会への貢献に向けて皆様のご支援をお願いします。

<https://go.kifu.fm/kunitachi/>
国立音楽大学経理課 (寄付金係)
TEL: 042-535-9528



【本演奏会に際して】

- 本演奏会は、感染拡大予防対策を行いながら開催いたします。ご来場前に本学公式Webサイトより注意事項をご確認の上、お越しください。
- 本演奏会は、会場の観客の皆様を撮影する場合があること、および収録された映像がインターネット、DVDなど各媒体で公開されることをあらかじめご了承ください。
- 就学前のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。
- やむを得ない事情での公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル、変更、払い戻しはできません。
- やむを得ない事情により、曲目・出演者・会場・日時等が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 会場内での写真撮影、録音、携帯電話の使用は固くお断りします。

